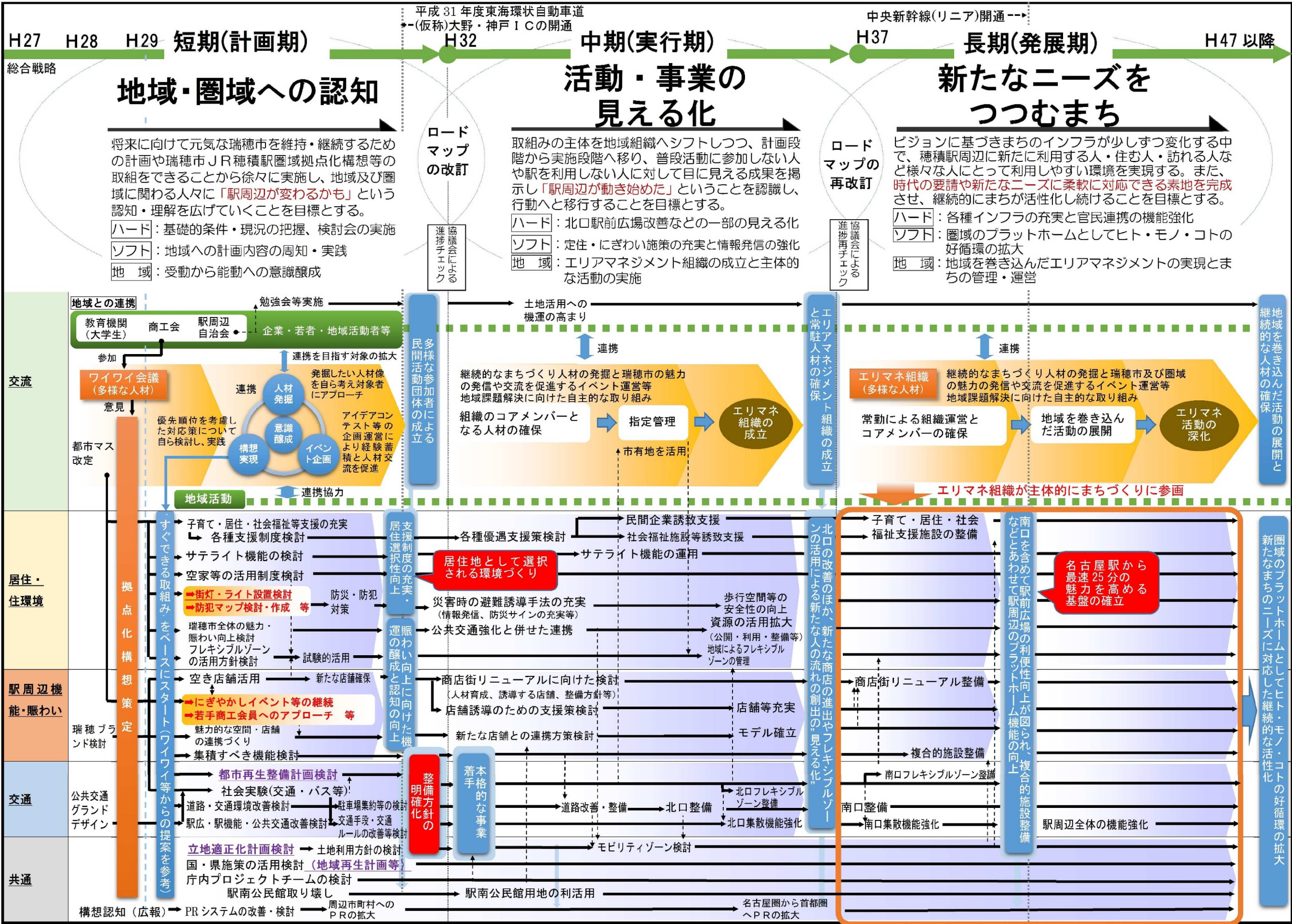


4 ロードマップの全体像



5 上位計画等との整合性及び年度別の目標・取組み

(1) 今後5年間の目標（平成29年度～平成33年度）

		【短期目標】 地域・圏域への認知					【中期目標】 活動・事業の見える化	
		H27 年度	H28 年度	H29 年度(短期)	H30 年度(短期)	H31 年度(短期)	H32 年度(中期)	H33 年度(中期)
【年度別の目標】		瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定	瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想の策定	地域認知の向上と変化のはじまり	能動的な意識への移行とハード面へのアプローチ	民間活動団体の成立と見える化への移行	ハード整備の整備方針の明確化	本格的な事業着手による見える化の促進
		将来の人口減少・少子高齢化に対応するため、元気のある自立したまちを維持していくことを目標に瑞穂市の実情を踏まえた「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。	瑞穂市の元気の原動力となる穂積駅を中心に、瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想の策定を行い、まちの将来像となる構想図及び実現に向けたロードマップを構築する。	地域を巻き込んだ活動を行うことで認知してもらうため、すぐに対応可能な対策から実施し始める。また、各取組みの事業化に向けた検討をスタートさせる。	組織化に向け、自分たちがやらなければならないという意識への移行を促す。また、見える化に向けた各取組みの検討を深めるとともに関係機関との協議を実施し、取組みの加速化を図る。	今後の活動のコアとなる人材による組織的な動き・基礎が完成し、次のステップである実行段階に向け、各取組みの具体的な手法と内容について関係者の共通認識を図る。	各種支援策の本格運用による新たな居住者の受入れや各取組みの具体的な手法について明確化を行い、本格的な事業着手に向けた調整を図る。	北口整備に向けた工事着手など地域だけではなく、普段駅を利用しない人に対しても駅周辺が動き始めたことと認識してもらうための「見える化」の整備と情報発信の充実を図る。
上位計画	総合計画	瑞穂市第1次総合計画（H18年度～） 瑞穂市第2次総合計画（H28年度～H37年度）						
	都市マス	瑞穂市都市計画マスタープラン（H20年度～） 改定期間 瑞穂市都市計画マスタープラン（H30年度～H37年度）						
諸計画	総合戦略	瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略「瑞穂市人口ビジョン」・「瑞穂市総合戦略」	JR穂積駅圏域拠点化構想	地域再生計画 検討				
	立地適正化計画			立地適正化計画 検討				
	都市再生整備計画					都市再生整備計画 検討		
想定される事項	交流	○瑞穂市第2次総合計画実施計画(平成28年度～29年度) ・地域防災力と防災意識の向上 取組み：自主防災組織の支援、防災リーダー育成研修の実施 ・市民の参加・参画機会の充実 取組み：市民それぞれの立場でまちづくりに関わっていくための仕組みや参加・参画の新たな手法により、若い世代でも参加しやすい環境づくり						
		○瑞穂市と朝日大学の包括連携協定 ・2013年 瑞穂市と朝日大学は協力して、地域の課題解決に関することを始め、まちづくりや人材育成、教育・文化、国際交流及びスポーツの振興など、地域社会に多様な貢献ができるよう、積極的に相互交流を図る ・2015年 各種審議会委員への教員派遣をはじめ、市から大学への研究協力及び学生のインターンシップ受入れ、各種多方面にわたり緊密な相互連携を深めてきたところで、瑞穂市と朝日大学が多様な分野において包括的緊密な協力関係を築き、持続・発展的に連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展や未来を担う人材育成、さらには市民の教育・文化活動など地域貢献に寄与することを目的とする						
	居住・住環境 駅周辺機能・賑わい	○瑞穂市人口ビジョン（平成27年～平成52年） ・2040年（平成52年）に人口55,000人を確保する ・2040年までに合計特殊出生率1.8を実現、市外からの大学生やファミリー世代の定住化の促進						
		○瑞穂市と朝日大学との連携 ・2015年 地方創生の「移住定住情報提供事業」のため朝日大学と連携。事業の一貫として、「市の魅力PRサイト」を構築 ・瑞穂市の魅力を大学生に伝えるため、市内居住者による歴史の講義を実施						
		○瑞穂市第2次総合計画実施計画(平成28年度～29年度) ・防犯パトロール活動の規模拡大 取組み：朝日大学大学生や防犯ボランティアの方々の協力により実施 ・空家等対策の推進 取組み：空家等対策計画の策定により、空家等に関する取り組みを推進 ・景観計画の策定・推進 取組み：景観計画の策定・景観計画策定委員会の設置 ・地域の多様な世代間の交流促進 取組み：若い世代が自治会活動や連合会活動に参加・参画する地域活動を支援 ・地域資源のブランド創出・魅力向上 取組み：特産品や歴史等をPRし、まちの魅力や認知度を高め、移住や定住につながる地域資源のブランド化を図る						
	交通 駅周辺機能・賑わい	○瑞穂市都市計画マスタープラン（穂積地域のまちづくり構想） 【まちの顔としての都市空間が形成され、多様な都市機能が集積した、賑わいと交流が生まれる地域づくり】 ・都市施設（道路、公園・緑地、等）や市街地整備の整備推進、防災機能の充実による安全で良好な住環境の形成 ・公共交通（鉄道・バス）の充実 ・生活道路や駅、公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備等、安全な交通環境の形成						
		○瑞穂市第2次総合計画実施計画(平成28～29年度) ・防犯環境の充実 取組み：街路灯の増設により、夜間の防犯環境を充実 ・公共交通の利便性向上 取組み：広域公共交通グランドデザイン等検討事業、地域公共交通会議 ・市内幹線道路・生活道路の整備 取組み：市内幹線道路の計画的整備や、歩行者や自転車等の通行に配慮した道路を整備、自転車歩行者道整備事業						